

2023-24年度R1テーマ
Create Hope in the World
世界に希望を生み出そう

R1会長
ゴードンR.マッキナリー



TAKEHARA ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報

会 長	宮本 和彦	会 計	土伏 英晴	管理運営	吉本きよ子
会長エレクト	宇都宮勝博	S A A	三好 静子	会員組織	堀越 賢二
幹 事	宇都宮勝博	副S A A	木村 安伸	奉 仕	久藤 孝仁
副 幹 事	福本 博之	直前会長	板場 英行		

事務局／〒725-0021竹原市竹原町3591
TEL／0846-22-7570 FAX／0846-22-7651
E-mail／rc-take@estate.ocn.ne.jp
http://www.takehara-rc.com
例会日／毎週木曜日12:30~13:30
例会場／大広苑 TEL(0846)-22-2970

本日のプログラム 9月7日

誕生祝・各会員記念日祝
誕生月該当者会員卓話

次週のプログラム 9月14日

クラブ管理運営委員会担当例会

【2023年8月23日 第2781回例会記録】

- 点 鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング：奉仕の理想
- ゲスト：ガバナー 井内 康輝様（広島南RC）
 随行幹事 廣田 昭様（広島南RC）
 G9ガバナー補佐 田坂 潤様（三原RC）
 補佐幹事 勝村 憲明様（三原RC）
- 会員数：12名
- 出席者：9名
- 欠席者：2名
- メイク：1名 出席率：83.33%



各会員各記念日（9月）

- 会員誕生日 木村 安伸
- 結婚記念日 久藤 孝仁
- 配偶者誕生日 三好 静子
- 事業所創立 中川 康子

新 会 員 紹 介



お名前 今 裕之 様
 （こん ひろゆき）
事業所 三井金属鉱業（株）
 竹原製煉所 所長
職業分類 非鉄金属
＜ご挨拶＞

6月29日に異動辞令がありまして着任しました。前任地は鹿児島の三井串木野鉱山です。私の名前、今（こん）は鹿児島のみならず、私の出身は北海道です。この苗字は東北・北海道に多い苗字です。鹿児島でも広島でもまともに今（こん）と呼ばれたことはまだないです。私の人生でロータリークラブにお世話になったことはありませんが、今回良い機会ですのでロータリーの理念を頭にに入れて地域貢献を含めた企業人として生きていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



井内ガバナーより新会員今様へ花束

会長の時間



【会長 宮本 和彦】

ガバナー公式訪問は、各クラブがその所属している国際ロータリーの役員と公式に接触する年一回の大切な機会です。

例会に先立ちまして2710地区

区ガバナーの井内様、G9ガバナー補佐田坂様、随行幹事廣田様、ガバナー補佐幹事の勝村様とクラブの実情と問題点を話し合いました。例会終了後にはクラブフォーラムを開催します。各委員会の年度計画、奉仕活動について報告していただきまして、ガバナーまたガバナー補佐のご指導を受けることになっております。会員の皆様は闊達な意見交換が出来ますようお願い致します。この後、井内ガバナーの卓話をいただきますので、これで会長時間とさせていただきます。井内ガバナー宜しくお願い致します。

ガバナー公式訪問

2023-2024年度
国際ロータリー第2710地区
ガバナー 井内 康輝 様



井内でございます。宜しくお願い致します。先ず、今日こうして皆さんの例会にお招きいただき有難うございます。このネクタイはRI会長から各世界のガバナーへのプレゼントです。そしてこのブレザーは日本には34人のガバナーがいるのですが、エレクトの時に皆でお揃いで作りました。全ての公式訪問に、このネクタイとブレザーを着用して出席したいと思います。

【本日のテーマ】

1. ロータリーの目指すもの
2. 2023-24地区、地区として計画している事項
3. ロータリー財団の事業
4. 米山奨学事業
5. 会員増強とオープン例会
6. マイロータリーへの登録のお願い

7. ロータリーカード利用の促進
8. 規定審議会と決議審議会
9. 危機管理

公式訪問でお伝えしたいのは、ロータリーの目指すものは皆さんもよくご存じだと思いますが、ロータリーの目的は何かをもう一度皆さんと確認しあいたいと思います。その中で今年度RI会長がテーマを発表されて、私も信条を発表しました。それがロータリーの目的と如何にマッチしているのかをお話したいと思います。具体的には何を一年間やるのかを後程ご紹介します。

ロータリーは一週間に一回集まり仲良く情報交換しながら親睦を深めるのが第一義です。奉仕の理念を奨励し、これを育む。ロータリーは親睦で結ばれた仲間たちがその地域、あるいは世界全体の平和と安定を目指すためには自分たちに何が出来るかと考えるべきであるのがロータリーの目的だと思っています。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあります。具体的には、次の各項を奨励することにあります。

- 第1： 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2： 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3： ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4： 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリー1905年の創立から約120年経ちます。2005年にロータリー誕生100周年を迎えました。それ以降に様々多くの議論がされた中で、2007年に行動計画が発表されました。

1. 行動計画の発表（2007年）

私たちは「世界を変える行動人」として、強い目的意識を共有しています

優先事項1： より大きなインパクトをもたらす（Increase our impact）＝公共のイメージの向上

優先事項2： 参加者の基盤を広げる（Expand our reach）＝仲間を増やす

優先事項3： 参加者の積極的なかわりを促す（Enhance participant engagement）

＝全員が参加する意識の向上

優先事項4：適応力を高める (Increase our ability to adapt)

2. ローターアクトの地位向上 (2019年)
ローターアクターがRI委員会の委員となる
ローターアクターがロータリークラブの例会に出席できる
3. DEIの提唱 (2020年)
多様性 Diversity
公平さ Equity
インクルージョン Inclusion

2023-2024年度RI会長は、ゴードン R.マッキナリーさん(スコットランド、サウスクイーンズフェリーRC) テーマは、『世界に希望を生み出そう』『Create Hope in the World』。それを受けて私のガバナー信条は、「平和の種をまこう!!~ロータリアンにできること~」と提唱しました。

2023-24年度、地区としての計画している平和の種は、

1. 地区大会 (2023/11月)
 - 1)記念講演：中満泉国連次長
 - 2)中満次長と青少年代表との対話
 - 3)記念事業：平和メッセージのモニュメント作製 (G7サミット広島参加の各国首脳メッセージ)
〔事業内容〕平和記念資料館に残された“世界から届く平和へのメッセージ”を平和モニュメントとして、広島市の「平和の丘」(比治山公園)に設置し、広く市民に公開する。

2. インターアクト委員会活動(2023/12月)
2590地区のインターアクターとロータリアンの来広 “平和学習の実施”

3. RYLAセミナー in 江田島 (2024/3月)
テーマ：平和のために青少年ができること
4. 地区バッジの作成ー折り鶴マーク
青少年交換学生 (4名)、ロータリー財団奨学生 (2名)などに託して世界へ
5. ガバナー月信一表紙の写真：広島の被曝モニュメントの紹介

特別コラム：青少年が取り組む平和活動の紹介

2023-24年度、RID2710、地区委員会の活動

1. 社会奉仕委員会
環境問題に関する出前授業のよびかけ
小学生を対象に (奉仕プロジェクト委員会)
2. 国際奉仕委員会
韓国3690地区との交流
シンガポール国際大会への参加
3. 青少年奉仕委員会
RYLAの実施
韓国3690地区との交流 — インターアクター

の相互訪問

4. ローターアクト委員会
地区ローターアクトクラブとしての奉仕活動 (2023/5/27) マツダスタジアムでのポリオ募金デー
5. 会員増強委員会
オープン例会の推奨
女性ロータリアンの会

米山奨学事業への疑問として、なぜ、中国からの留学生が多いのか？なぜ、日本の学生への支援をしないのか？を言われます。では、なぜ外国人留学生を支援するのか、

「米山奨学事業の目的は、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援することであり、その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、“平和日本”を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという願いがある。苦学生の支援が目的ではない。」

この当初の主旨、それを厳然と守ってやっています。ただ一国から70~80%の奨学生が占めるといのでなく今年から30%以下にする工夫をしているところです。

オープン例会、昨年から地区として力を入れることにしました。72クラブのうち35クラブ参加208名、そのうち入会見込のあるという回答は64名の3割位です。かなり効果のあるプログラムだと思います。G12の庄原RCでは参加された11名全員が入会見込であるとの回答です。クラブ会員皆さんでどんどん招待して、クラブの良さを実感していただいて、入会していただけるようなプロセスを考えて頂ければと思います。

次に、マイロータリーへの登録をお願いします。我が地区の登録率は43%です。なぜかと言いますと、これからのロータリー情報はマイロータリーのラーニングセンターより情報が流れてくる仕組みになりますので、是非ご登録をお願いします。

規定審議会は3年に一回しか開かれませんが、日本では国会に相当するところです。規定審議会で議論される基は各クラブの意見です。各クラブの意見を地区で集めてそれを提案の形で纏めて提出するものです。例えばどんなことが議論されるかといいますと、2022-23年度の人頭分担金は71ドルでしたが、2025-26年度の人頭分担金は82ドルになります、10ドルくらい値上げされます。これはRI理事会で決まります。反対するのならば規定審議会でしなければいけない。ただそれが出来ていない、そういうところに我が地区は無関心でした。

最後ですが、コロナも減少して、高校生たちを世界交換学生で世界中に出していますし、ロータリー財団奨学生で世界に出ています。それに伴い世界中から外国の若い方も日本に来ます。そこで心配なのが、頻発している自然災害に遭わないか、コロナのようなパンデミックに遭わないか、それとハラスメントです。欧米の方たちはハラスメントに対する考え方が違います、実際訴訟が起こりつつあります。少し恐れていることがあります。私たちロータリアンは、ロータリークラブ独自の様々なプログラムを通し、未来を担う若者たちを「支援している」。ロータリーでおこるパワハラ・セクハラのは多くは、「支援してあげている」という高圧的な立場・態度・意識によって発生しています。ロータリアンはその行為が法的な責任は問われなくても社会的責任を問われることが多々あります。是非何かありましたら私の方にご相談してください。ご清聴ありがとうございました。

フォーラム

13:40～15:10

出席者：RID2710 ガバナー 井内康輝 様
G9ガバナー補佐 田坂 潤 様
随員 廣田 昭 様
随員 勝村憲明 様
ガバナー補佐幹事 勝村憲明 様
竹原RC会員 8名

進行：田坂ガバナー補佐

1. 開会
2. 会長 挨拶
3. ガバナーご挨拶
4. 出席者自己紹介
5. 議事
各委員会より計画発表
ガバナーよりご感想・ご意見
会員へも意見を求められる
6. ガバナー 講評
7. 会長 謝辞
8. 閉会



例会前のラジオ体操